

布目ダム アオコの発生確認と対応状況

独立行政法人水資源機構木津川ダム総合管理所が管理する布目ダム貯水池において、職員による巡視の結果、藍藻類^{らんそうるい}ミクロスティス等によるアオコの小規模な発生を確認しました。

現在の状況及び取り組み等についてお知らせします。

1. 概要

■アオコの発生の確認

8月27日（月）に確認

■アオコを構成する藍藻類

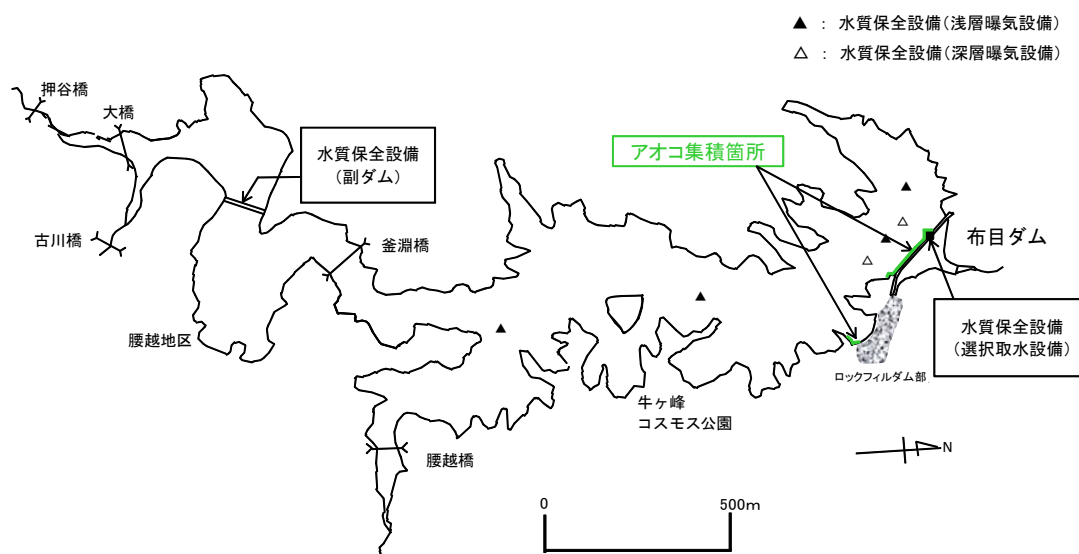
ミクロスティス等

■発生場所・規模

ダム堤体付近（100m×15m 程度等）箇所です。

■9月3日のアオコ発生状況

アオコ発生位置図（平成30年9月3日）



9月3日（月）時点では、ダム堤体（コンクリート部、ロックフィル部）にアオコの集積が見られますが、貯水池内にアオコの発生は確認されていません。

2. 水質等 臨時調査結果

8月28日（火）、29日（水）に採水し、アオコを構成するプランクトン種および水質調査を行いました。その結果は以下のとおりです。

【8月28日、29日採水調査結果】

調査地点			植物プランクトン cells/ml		クロロフィルa	ミクロキスチン ※1 LR	2-MIB ※2	ジオスミン ※2
網場	基準点	表層	種類	濃度	μg/L	mg/L	ng/L	ng/L
		表層	ミクロキスティス	156,000	21.7	<0.0001	1	1.9
水質保全設備 (選択取水設備)		表層	ミクロキスティス	4,780	19.7	<0.0001	0.7	1.1

※1 藍藻類ミクロキスティスの一部の種類は、毒性物質ミクロキスチンを生産することがあります。ミクロキスチンにはLR、RR、YRの3種類があり、このうちミクロキスチン LR については水道水の要検討項目として目標値 0.0008mg/L（暫定値）とされています。

※2 2-MIB（2-メチルイソボルネオール）及びジオスミンはカビ臭の原因物質です。藍藻類の種などにより作られます。なお、水道水基準においては、それぞれ 10ng/L 以下と定められています。

3. ダム貯水池巡視の強化

ダム貯水池のアオコ発生状況の監視の強化を継続します。

【参考】ミクロキスティスとは

ミクロキスティスは、植物プランクトンの藍藻類に分類されます。細胞は非常に小さな球形で寒天質の膜の中に集まり群体を形成します。

群体の大きさは、顕微鏡観察により確認できる大きさから群体と群体が結合することで肉眼でも見られる大きさになるものまであります。群体の形は、球形や楕円体状等になります。

細胞内にガス胞がある種は、顕微鏡観察では黒色に見えます。

